

(4)津軽半島東部(青森～外ヶ浜)

津軽半島東側沿岸域において、平館海峡を渡るガン類およびハクチョウ類の渡り時の行動ならびに飛行高度を把握するために定点調査を実施した(表 1-2-4-1、図 1-2-4-1)。このほか、阿弥陀川河口付近の埤(休息場)と採餌場を移動するガン類の飛行高度についても記録した。高度については目測または簡易レーザー測距器を用いた。

表 1-2-4-1 現地調査実施状況(定点調査)

時期	内容	方法	手段	調査地点(St)	期間	総時間数
3月	埤入りの個体数	定点調査	目測	3	3月30日	1:30
3月	埤を出る際の個体数	定点調査	目測	3	3月31日	1:00
3月	渡りの飛行方向と高度	定点調査	目測	1	3月31日	3:15
3月	渡りの飛行方向と高度	定点調査	目測、簡易レーザー測距器	2	3月31日	7:05
合計						12:50

(注)本表以外にも踏査による観察を行った。



図 1-2-4-1 定点調査の実施地点(2014年3月)

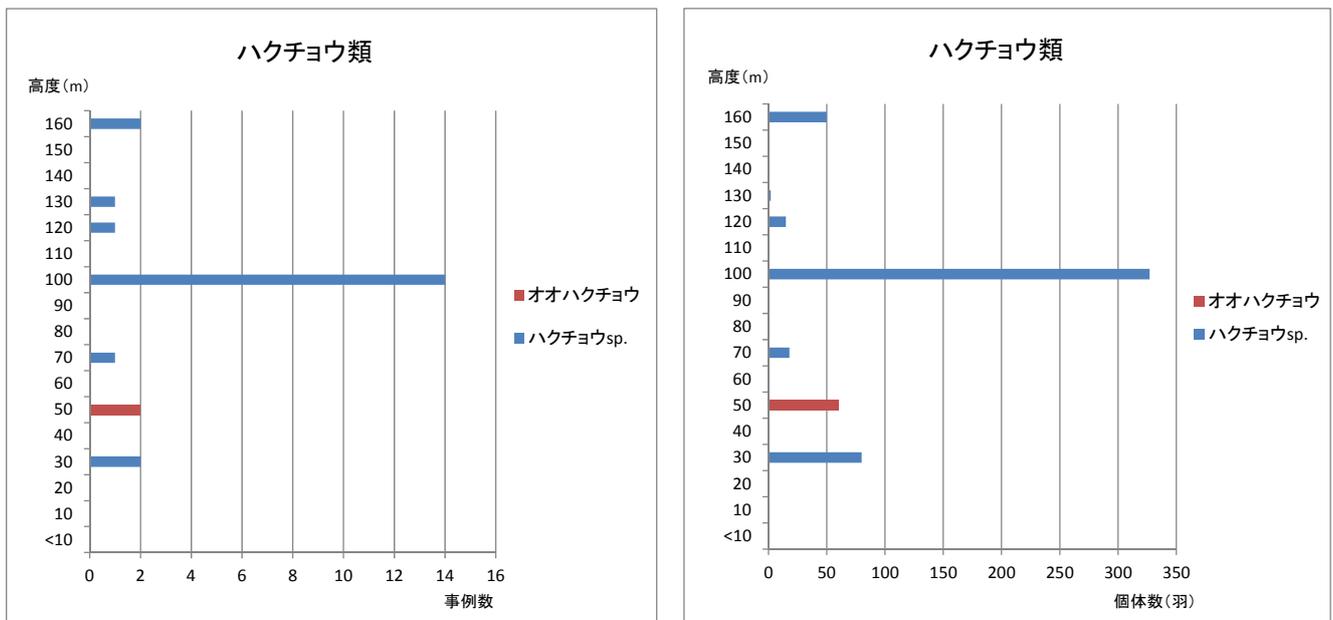


写真 1-2-4-1 外ヶ浜町蟹田港(2014年3月31日)

a) 平館海峡を渡るガン類・ハクチョウ類の飛行高度

津軽半島東部の外ヶ浜に設定した定点2カ所(St-1、St-2)において、目測および簡易レーザー測距器で記録したハクチョウ類の飛行高度と事例数および個体数を図1-2-4-2に示す。飛行は高度30~160mの幅で見られたが、100mでの飛行が事例数、個体数ともに目立って多かった。海岸沿いに北進してきた群れの多くは蟹田川河口付近で東方向に進路を変えており、そのほとんどが平館海峡を越え下北半島に飛去したと見られる。

実際にガン類1群、ハクチョウ類10群では、下北半島北端に到達したことが確認された(図1-2-4-3、軌跡番号①、②に該当)。ハクチョウ類の多くは100mほどの高度を大きく変えずに飛行する様子が認められた。また、ガン類は高度30mほどを保ちながら飛行を続けた。



(注) 高度は各事例で記録された最高高度とする。高度不明を除く

(2014年3月31日、6:25~13:30)

図 1-2-4-2 津軽半島東部で観察されたハクチョウ類の飛行高度と事例数および個体数(目測・測距器)



軌跡番号	種類	群れ数	1群あたりの個体数	飛行高度(範囲)	飛行高度(平均)
①	ハクチョウsp.	6群	7～50羽	30～160m	76m
①	ガンsp.		1羽	30m	30m
②	ハクチョウsp.	4群	4～30羽	50～100m	94m
③	ハクチョウsp.	1群	20羽	100m	100m
④	ハクチョウsp.	1群	40羽	100m	100m
⑤	ハクチョウsp.	1群	40羽	100m	100m

(2014年3月31日、6:25～13:30)

図 1-2-4-3 平館海峡を渡るガン類・ハクチョウ類の飛行状況

b) 罫(休息場)と採餌場との移動

津軽半島東部の蓮田村蓮田から青森市奥内にかけて、ガン類、ハクチョウ類が多く認められた(図1-2-4-4)。これらの主要な罫と考えられる蓮田ため池とその周辺の採餌場との移動状況を見るため、蓮田ため池に定点(St-3)を設定し、ガン類の飛行高度を記録した(図1-2-4-5)。その結果、罫からの移動では高度50m台で2例、罫への移動では高度30m台で3例が記録された。

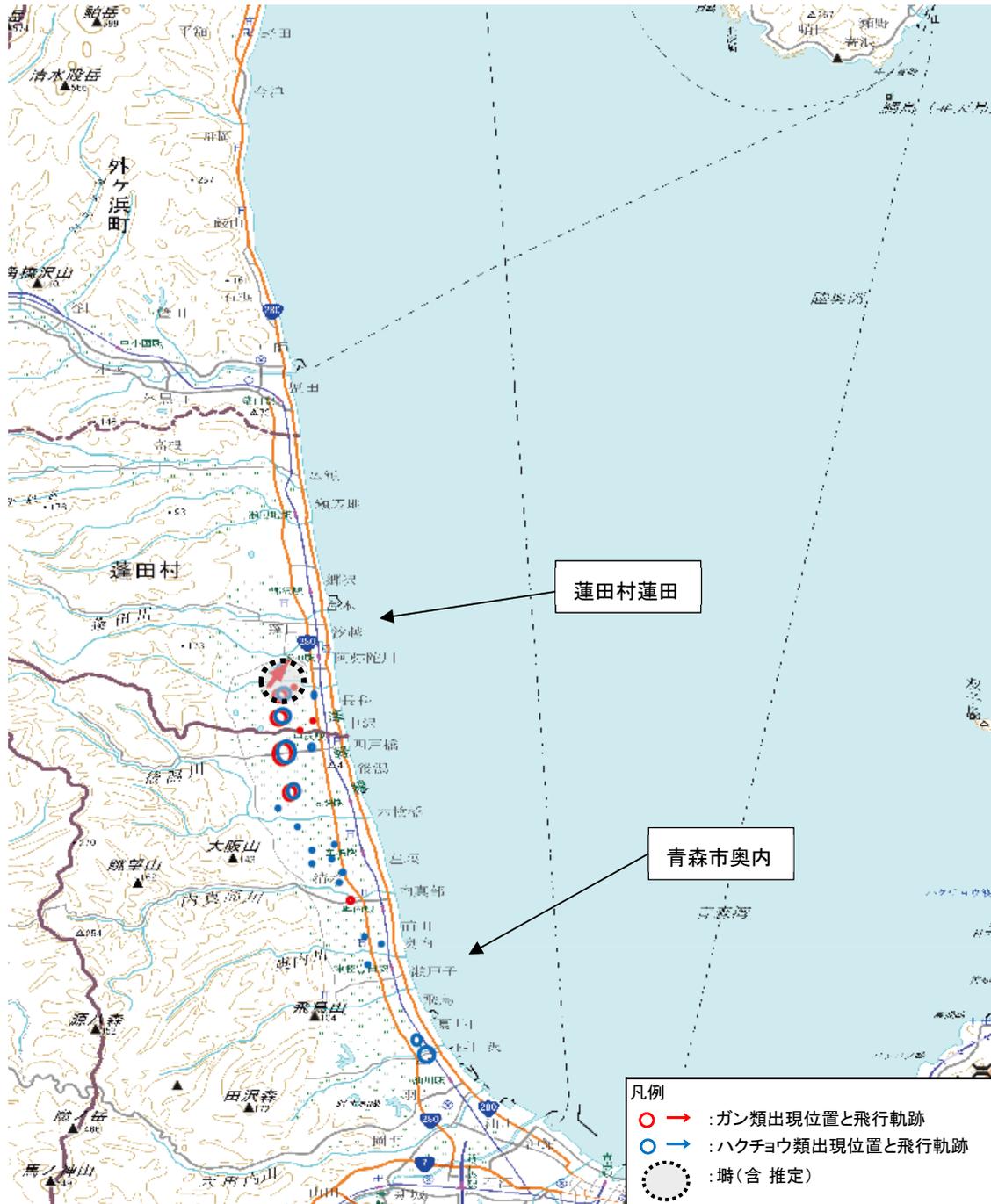
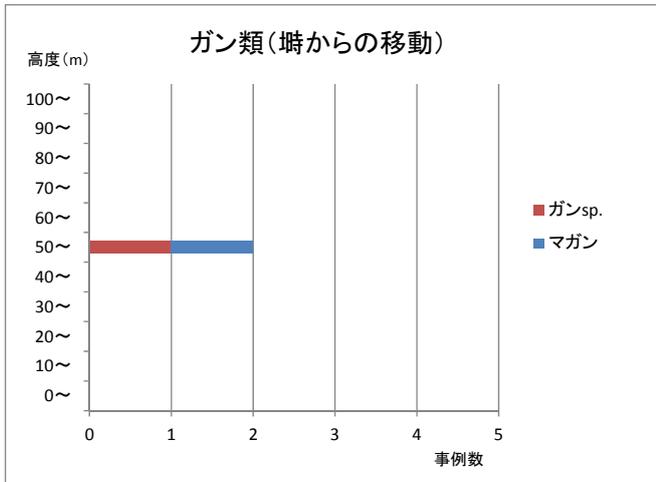
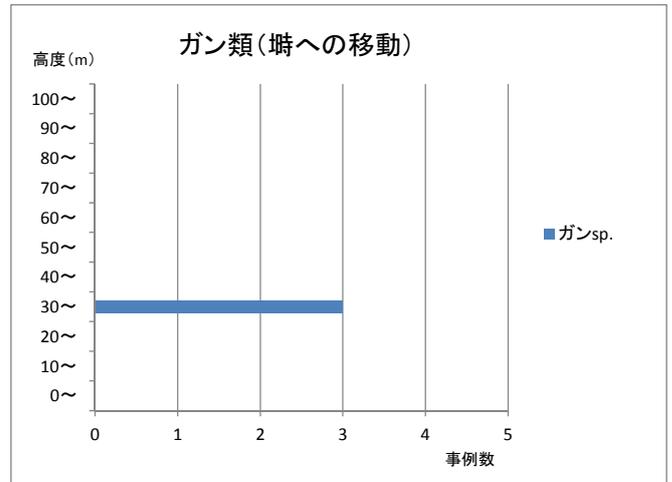


図1-2-4-4 津軽半島東部におけるガン類・ハクチョウ類の出現状況(2014年3月30~31日)



(2014年3月31日、5:20~6:20)



(2014年3月30日、17:00~18:30)

(注) 高度は各事例で記録された最高高度とする

図 1-2-4-5 塹に出入りする際のガン類の飛行高度と事例数(目測)